

霞が関支部、山梨支部メンバーによる日向山登山（7月26日）

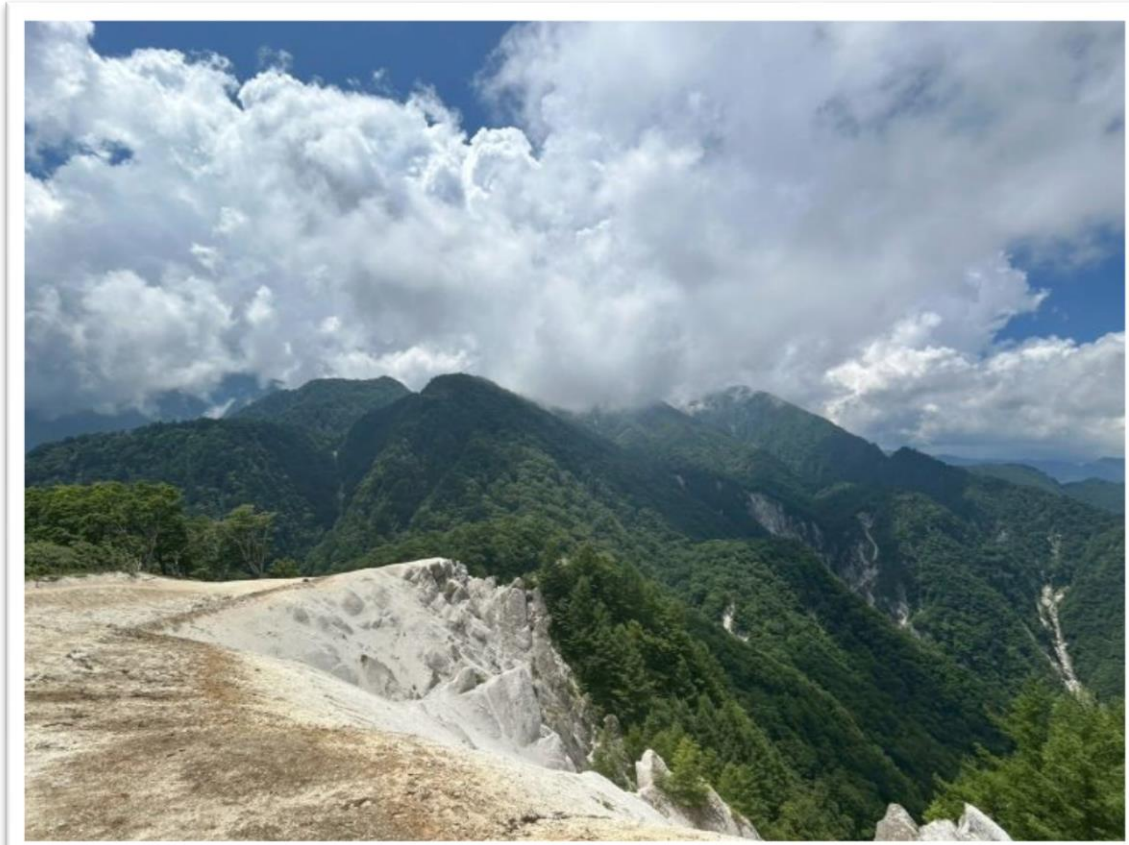
霞が関支部 Y・K 氏からの投稿

日向山（ひなたやま）は、山梨県北杜市にある標高 1,660m で登山初心者の方や家族連れで比較的気軽に楽しめる山です。山梨百名山であり山々の向こうには北杜市の街と八ヶ岳の広大な山麓が広がり、振り向くと背後には甲斐駒ヶ岳の山頂が望めます。

当日は、霞が関支部メンバーは「あずさ 71 号」に乗車し、甲府駅で山梨支部メンバーと合流し、車で矢立石登山口に行き登山を開始しました。比較的なだらかな登山道ですが、メンバーは 70 歳を筆頭に高齢者ですので、休み休みながら、そして十分な水分補給をしてお山の山登りです。



ようやく木立を抜け山頂に到着すると、急に視界が開け、花崗岩が風化してできた真っ白な砂に覆われた「雁が原（天空のビーチ）」が現れました。メンバー全員が思わず「うおっ」と驚きと感動の瞬間でした。やっぱり山はいいなあ、疲れは一気に吹き飛んでしまいました。



昼食後の下山は、天気予報では午後には雨が降り出すとのことや水信玄餅を予約していたこともあり、休憩なしで一気に駐車場まで下りてきました。目指すは金精軒の水信玄餅です。白州の名水を、極限まで少なくした寒天で優しく固めた水菓子です。透明でちやぶちやぶ揺れるほどに柔らかく、まるで水そのものを食べているかのような味わいが特徴です。消費期限が 30 分以内のため、その場で食べなくてはなりません。



水信玄餅を食べた後は、近くの七賢の蔵元を見学し、宿泊先である「ホテルやまなみ」に向かいました。ホテルは石和温泉駅近くにあり、山梨県市町村職員共済組合の保養所です。ここの温泉ですが、香りたかい檜をふんだんに使った「檜木の湯」や甲州名産の水晶をイメージした「水晶の湯」がおすすめです。メンバーは何といても甲州ワインの香りがとても良い「甲州ワイン風呂」を堪能しました。食事もお酒もとても美味しく、登山疲れが吹っ飛びました。

翌日は、山梨県笛吹川フルーツ公園に寄り、桃直売所で桃を購入して解散、霞が関支部メンバーは山梨市駅から帰途につきました。

久しぶりの登山でしたが、天候にも恵まれ、大満足の1泊2日で山梨を満喫してきました。

